

R5 スクールワイド PBS 実践における成果と課題

(学校名 : 西都市立妻北小学校)

成果	<ul style="list-style-type: none">○ 児童生徒の変容<ul style="list-style-type: none">・「スリッパをそろえよう」キャンペーンでは、係の児童や学級で意識して取り組む姿が見られた。・「自分から挨拶や会釈をしよう」キャンペーン後、児童の挨拶や会釈への意識が高まった。・複数の教職員が給食時間、放送で児童にフィードバックを行ったことによって、挨拶や会釈がキャンペーン後も引き続き行っている児童の姿も見られた。○ 校内における体制整備<ul style="list-style-type: none">・行動マトリクスの見直しを全教職員で話し合ったことによって、児童に伝わりやすい行動マトリクスを作成することができた。・行動マトリクスのふり返りを毎月それぞれの学級で行い、翌月の意欲へとつなげた。マトリクス表から毎日のめあてを考える等、学級経営で生かす学級もあった。○ 教職員の変容<ul style="list-style-type: none">・キャンペーン後も引き続き褒めたり、声をかけたりする教職員が増えた。・良い行動をしたときにすぐに称賛する教職員が増えた。○ 地域・保護者<ul style="list-style-type: none">・「自分から挨拶や会釈をしよう」のキャンペーンをきっかけに、家庭内でも親が挨拶する姿を子どもに見せる必要性を知った。・我が子の登校する姿を知る良い機会となった。・子ども達の実態を知り、挨拶の取り組みの必要性を感じた。
課題	<ul style="list-style-type: none">● 児童生徒<ul style="list-style-type: none">・キャンペーン後に児童の意欲が継続しにくい。 (継続的に褒める場の設定が必要)・児童によってキャンペーンに対する取り組みの個人差が大きい。● 校内における体制整備<ul style="list-style-type: none">・キャンペーンの時期の検討(学校行事等との兼ね合い)